

役員立候補者等 公示

立候補役員名	全道理事						
(ふりがな) 氏名	いまい あつし 今井 敦	性別	(男) 女	生年月日	西暦 1979年 7月 2日	年齢	39歳
勤務先名	旭川市神楽・西神楽 地域包括支援センター						
会員番号	22951	市町村	旭川市				
主な活動歴	平成24年度より、北海道社会福祉士会の地域包括支援委員として、研修の企画・運営を行うことや高齢者虐待対応専門職チーム員の活動、養介護施設従事者等による高齢者虐待の研修の担当を通じて、北海道における高齢者虐待防止に努めております。 また、平成28年度からは北海道地域包括・在宅介護支援センター協議会幹事として、道内の地域包括支援センターの機能強化やネットワーク構築に向けた事業等に取り組んでおります。						
立候補理由・抱負	平成18年度より、地域包括支援センターの社会福祉士として、総合相談・ネットワーク構築・権利擁護等の業務を行うことで、その専門性や必要性、重要性を強く感じました。 さらに、地域包括支援センター支援委員会や虐待防止に向けた研修、基礎研修の講師、災害時におけるニーズ調査支援等、様々な社会福祉士会の活動に参加させていただくことで自己研鑽の機会となり、また職種や分野の異なる社会福祉士の皆様や諸先輩方との繋がりを持つことができ、会員として有意義な時間を過ごさせていただいております。 今後は、これまでの経験を活かして ①日々、会員の皆様が社会福祉士として実践されている活動の一翼を担うこと ②社会福祉士会の活動における役割や魅力を地域・関係機関への発信を通し、社会福祉士が活躍できる場と職域拡大に繋げること ③社会福祉士会の継続的な発展に繋げることが できる活動をしていきたい、立候補いたします。						
推薦者-①	松林 邦昭	会員番号	13927				
推薦理由	私が今井候補を推薦する理由は3つあります。 1、地区支部での活動実績、経験が豊富であるため 今井候補は北海道社会福祉士会道北地区支部の役員を7年間担当し、現在は事務局次長として活躍されており、理事を担う上での実績と経験が豊富であると考えます。 2、社会福祉士として業務に向き合う姿勢が素晴らしいため 毎年、今井候補と一緒に地区の研修会を企画、実施しておりますが、特に「事前準備と調整」を大切に、堅実かつ正確に仕事に向き合う姿勢に、いつも学びと刺激を受けています。 3、今後の北海道社会福祉士会の運営に必要な人材であるため 福祉課題が多様化するなかで、北海道社会福祉士会としては、安定的で住民に信頼される組織づくりが必要だと考えます。その点で今井候補の「事前準備力」と「調整力」が欠かせない力であると考えます。						
推薦者-②	高橋 通江	会員番号	22711				
推薦理由	今井候補は、地域包括支援センター支援委員会委員として従事され、道北地区支部のみならず、北海道内の各市町村等との連携を通じ、地域包括ケアシステムの構築支援、高齢者虐待防止に関する研修等を通じた専門性の支援に関して熱心に取り組んでいます。特に、養介護施設従事者における虐待対応に関しては、エキスパートであり、今後、道内における研修体制を構築するにあたり、北海道社会福祉士会としても、活躍していただく存在であると思います。 また、地域包括支援センターには、平成18年から勤務され、日々、忠実に業務にあたり、個別支援と地域支援を一体的に実践しておられる姿は、社会福祉士の鑑であると思い、私も多くのことを学ばせていただきました。旭川市内の地域包括支援センターの社会福祉士にとりましても、頼りにされているソーシャルワーカーです。 今後の社会福祉士会の発展において必要不可欠な方であり、理事へ推薦させていただきます。						
推薦者-③	三井 弘巳	会員番号	11674				
推薦理由	今井候補は、本会の地域包括支援センター支援委員として、長く活動されています。その活動の中では、高齢者虐待防止に関する全道規模の研修企画や運営を通じて、本会会員のみならず、権利擁護の視点を必要とする様々な専門職間の連携や学びの促進に寄与されています。 また、職場においては地域包括支援センターの管理者として勤務され、日々忠実に業務にあたり、利用者の個別支援と地域支援を一体的に実践し、関係する多くの機関や部下の方々から厚い信頼を受けながら勤務されています。 日頃から、担当圏域に限定せず、広く他の圏域と連携を深めながら業務を行われる姿勢も、本会の発展に必ずや大きな影響力を発揮してくださるものと感じております。 このように、高い実践力や、深い専門性、尊敬できるパーソナリティなどを考慮すると、今井候補が理事として適任と考えるため、推薦させていただきます。						